

平成31年度 上士幌町

まちの予算

平成31年度は予算総額126億8,887万円（前年度比28.7%増）

5,000人のまちづくりに向けて
さらなる人口減少への対策と地方創生を積極的に推進

一般会計と5特別会計の当初予算は、総額126億8887万円で、前年度予算との比較で28.7%（28億3121万円）の増額となりました。このうち、一般会計は108億2663万円で、同36.6%（29億245万円）の増額となりました。

■一般会計《歳入》

主要な財源である地方交付税は、前年度予算との比較で2.4%増の27億2370万円、町税は6.0%増の7億4411万円を見込んでいます。基金からの繰り入れは8.0%増の11億7731万円です。

町債は140.0%増の24億6981万円で、臨時財政対策債の1億1931万円などとなっています。

■一般会計《歳出》

歳出は、第5期総合計画における5000人のまちづくりのための6つの目標を実現するための政策はもとより、本町の喫緊の課題である人口減少と地方創生に対する重点対策であり、1期目の最終年度を迎える「上士幌町人口ビジョン・総合戦略」の5つの基本目標である「地場産品で地域の活力を生み出すまち」「子育て・教育の充実したまち」「健康で安心して暮らせるまち」「移住定住による人口減少をくい止めるまち」「小さな拠点形成を目指すまち」と、プラスワンとして「生涯活躍の

まち」を達成するための施策を重点テーマとし、積極的に推進することを方針としています。

■基金について

町が管理する基金残高は、平成30年度の決算見込みでは、約76億7818万円となっています。平成31年度は11億7731万円を一般会計へ繰り入れ、ふるさと納税制度による指定寄付分として財政調整基金から3億円、ふるさと納税・子育て少子化対策基金から1億6828万円、ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金から7599万円を事業へ充当し活用します。

このほかに、基金と同様の取り扱いができるものとして、北海道市町村備荒資金組合超過納付金が約8億825万円あります。

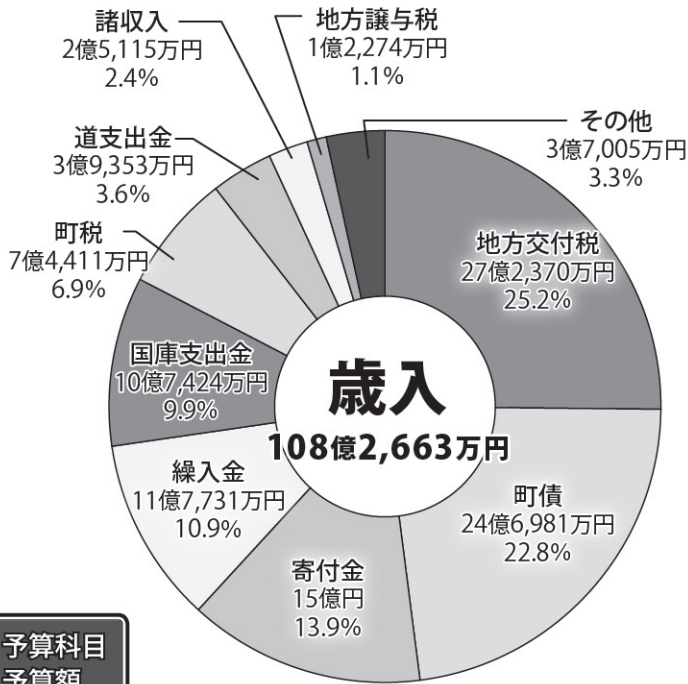
基金については、公共施設の建替えなどの大型事業に備えて、適正に執行していく必要があります。

※北海道市町村備荒資金組合とは

道内全ての市町村で組織する一部事務組合で、災害に備えるための資金の積立て（普通納付金・超過納付金）および、その積立金の管理運用を行っています。運用益から必要経費を控除した残額は、構成市町村の積立金残高に応じて配分されます。

平成29年度の配分率（利率）は、普通納付金が1.00%、超過納付金が0.35%となっています。

■ 一般会計予算の内訳



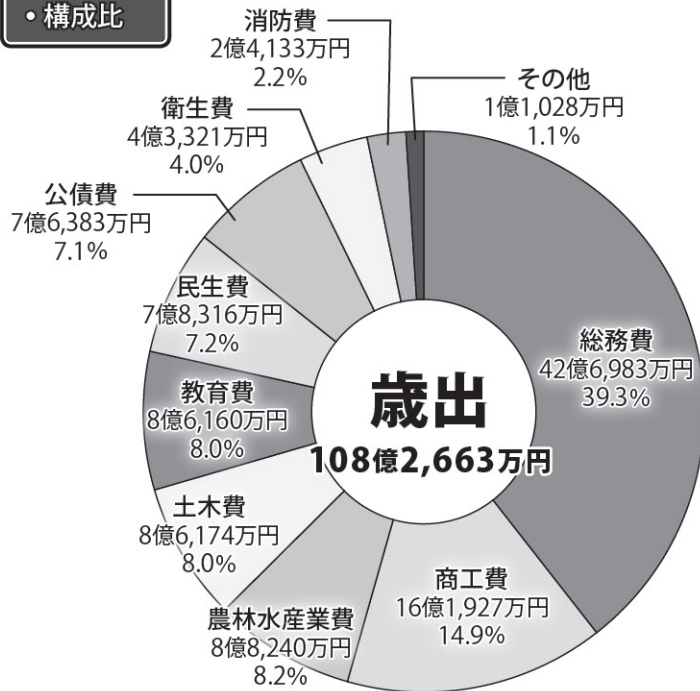
■ 主な歳入予算 (前年度予算との対比)

○ 地方交付税	27億2,370万円 (6,270万円増/2.4%増)
○ 町債	24億6,981万円 (14億4,077万円増/140.0%増)
○ 寄付金	15億円 (5億2,596万円増/54.0%増)
○ 繰入金	11億7,731万円 (8,746万円増/8.0%増)
○ 国庫支出金	10億7,424万円 (6億7,664万円増/170.2%増)

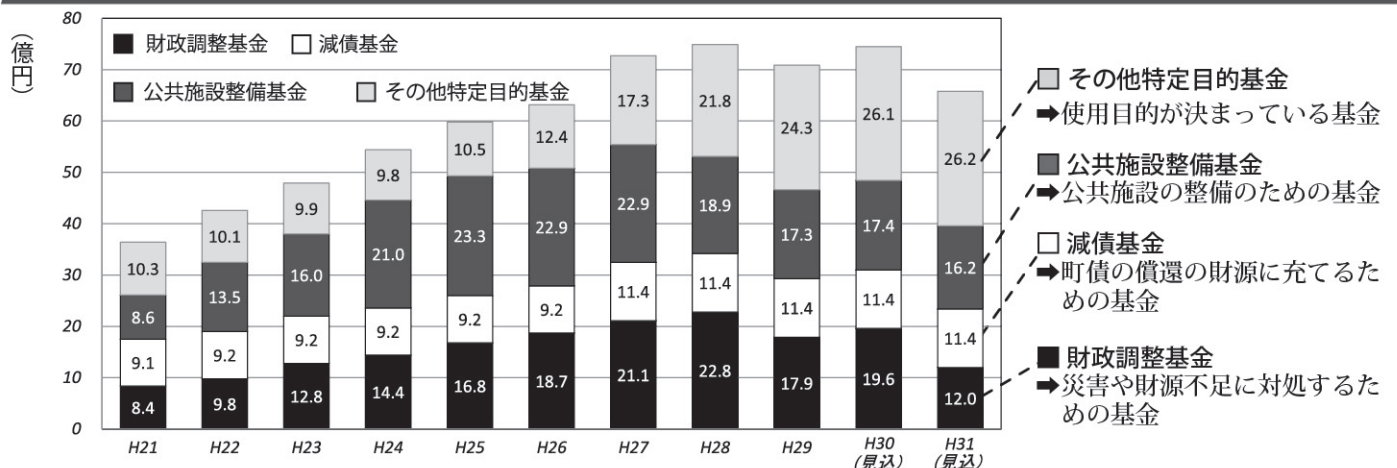
■ 主な歳出予算 (前年度予算との対比)

○ 総務費	42億6,983万円 (21億1,201万円増/97.9%増)
○ 商工費	16億1,927万円 (7億9,913万円増/97.4%増)
○ 農林水産業費	8億8,240万円 (4,230万円増/5.0%増)
○ 土木費	8億6,174万円 (6,269万円増/7.8%増)
○ 教育費	8億6,160万円 (4,208万円減/4.7%減)
○ 民生費	7億8,316万円 (1,464万円減/1.8%減)
○ 公債費	7億6,383万円 (1,401万円増/1.9%増)
○ 衛生費	4億3,321万円 (805万円増/1.9%増)
○ 消防費	2億4,133万円 (2,239万円増/10.2%増)

• 予算科目
• 予算額
• 構成比



■ 一般会計基金現在高の推移



平成31年度

主なお金の使いみち

※表中の「新」は、平成31年度から新たに実施する新規事業

＊ 議会・行政・まちづくり

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1	新	議会・委員会中継システム整備事業	994万円	議会中継システムの更新と、委員会中継システムを整備し、委員会についてもインターネット配信。
2		ふるさと納税推進事業	10億9,201万円	返礼品の充実、PRの強化。また、寄付者との繋がりを深め、交流人口の増加を図る。
3	新	高度情報通信網(光回線等)整備事業	15億2,627万円	農村地域及びぬかびら源泉郷の高速ブロードバンドサービス未提供地区へ光回線を敷設。
4		山村開発センター管理経費	1,289万円	山村開発センターの維持管理経費。机、椅子の更新。
5		まちづくり活動支援事業	135万円	町内のグループや団体等が、公益的なまちづくり活動をするための経費を支援。
6		生涯活躍のまち 上士幌創生包括プロジェクト事業	7,898万円	安心して豊かな生活が送れるまちを目指し、地域包括ケアや生涯活躍かみしほろ塾、人材センターの運営等、生涯活躍のまちを推進。
7		移住促進・二地域居住事業	3,375万円	移住定住促進のため、生活体験用住宅の整備や首都圏プロモーション活動、生活体験モニター、ふるさと納税寄付者との交流を実施。
8	新	おでかけ確保対策(地域公共交通網形成)事業	342万円	町おでかけ確保対策を図るため、地域公共交通網形成計画を策定。高齢者の運転免許証自主返納促進などもあわせて検討。
9		住宅用太陽光発電システム導入支援事業	160万円	住宅用太陽光発電システム導入への助成。
10		エネルギー地産地消事業化モデル支援事業推進経費	226万円	再生可能エネルギー地産地消のまちづくりに向けた、コンソーシアム(共同事業体)への補助。
11	新	電子計算機器等更新経費	4,633万円	事務用パソコンの更新経費。

＊ 環境・衛生・労働

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		交通安全管理経費	106万円	交通安全と防犯啓蒙の活動を支援し、町民の安全で安心な生活ができる町づくりを目指す。
2	新	高齢者運転免許自主返納支援事業	3万円	運転免許証を自主返納した高齢者に対して運転経歴照明明申請手数料等を補助し、免許返納制度の利用促進を図る。
3		老朽施設解体撤去促進事業	700万円	地域の防犯対策・防災対策と住環境の維持向上のため、老朽施設の解体撤去費用の一部を助成。
4	新	葬祭場火葬炉改修事業	718万円	葬祭場火葬炉の老朽化に伴い、動力制御盤、燃烧送風機等の設備を更新・修繕。
5		無料職業紹介事業	276万円	求職者と町内事業所に職業紹介と人材あっせんを行い、産業振興、雇用成立、移住・定住の促進を図る。

平成31年度予算に計上された特徴的な主要事業についてご紹介いたします。

お問い合わせは、企画財政課財政担当(☎2-4290)まで

✿ 建築・土木・上下水道

No	新	事業名	予算額	事業内容
1		地籍調査事業	2,710万円	地籍の明確化を図るための地籍調査、および地理情報の利活用推進のための地籍調査完了地区の過年度数値情報化を実施。
2		豊岡45号線排水路整備事業	2,220万円	豊岡45号線の排水路整備工事 134m。
3		勢多環状線道路側溝補修事業	4,356万円	勢多環状線の道路側溝補修工事 268m。
4		雪寒建設機械購入事業	6,562万円	除雪作業の効率化を図るため除雪車を購入。
5		電源開発西側道路整備事業	4,010万円	電源開発西側道路の道路整備工事 115m。
6	新	本町西仲通北線道路改良舗装事業	3,757万円	本町西仲通北線の道路改良舗装工事 200m。
7		北団地改善工事	1,712万円	北団地の空き住戸を改修し、内部をバリアフリー化。3戸実施。
8		定住促進賃貸住宅建設費助成事業	6,000万円	定住と移住促進を図るため、賃貸住宅の建設費用の一部を助成。
9		簡易水道施設改良事業	6,948万円	残留塩素設置工事、水質計器修繕工事、配水管移設工事2区間、配水管布設工事1区間、配水管更新工事2区間、配水管工事1区間。
10		下水道施設整備事業	7,214万円	下水道管理センター長寿命化計画に基づく設備機器の改築工事、公共汚水柵設置工事10箇所。

✿ 防犯・防災・消防

No	新	事業名	予算額	事業内容
1	新	公衆無線LAN環境整備事業	2,495万円	指定避難所等において、避難者が平時と同様に情報を収集できる環境を整備。
2		街路灯・防犯灯LED化事業	2,101万円	老朽化した自立型の街路灯・防犯灯のLED化を実施。
3	新	消防庁舎建設事業	3,773万円	平成32年度の消防庁舎建設に伴う、設計委託業務経費。
4		災害対策経費	608万円	防災力向上を目的とした講演会、防災ガイドマップの更新作成、非常用発電機の整備。

✿ 保健・医療・福祉・介護

No	新	事業名	予算額	事業内容
1		福祉灯油等支給事業	600万円	在宅で生活する低所得の世帯に対し、冬期間における採暖用灯油等購入費の一部を10,000円の商品券で助成し、冬の生活を支援する。
2		三愛介護サービス事業推進経費	1,652万円	介護要支援者等に生活支援サービスを提供し、自立への支援と生活の質の確保、家族の身体的・精神的負担軽減を図る。
3		高齢者等福祉サービス助成事業	3,050万円	要介護状態または要支援状態にある高齢者等に対して、訪問介護や通所介護等の福祉サービスを提供。
4		高齢者等福祉バス運行事業	2,388万円	高齢者等の外出支援のため、市街地循環、農村部から市街地への巡回バスを運行する。老人クラブ等の研修係るバスの送迎も行う。
5	新	高齢者等在宅介護支援事業	1,928万円	在宅で暮らす要介護者本人の経済的負担と家族の介護負担感の軽減を図る目的としての介護用品の支給。
6		高齢者生活福祉センター管理運営事業	1,749万円	在宅介護サービス事業等の拠点となる施設の運営経費。施設の屋上防水改修工事を実施。
7		地域医療振興対策事業	1億1,450万円	地域医療体制を維持するため、救急医療の確保等、行政と町内医療機関の連携により、一次医療圏としての機能の充実を図る。
8		予防接種経費	1,598万円	従来の定期予防接種の実施のほか、働く世代の男性に対し風しんの予防接種を開始。
9		健康診査経費	450万円	健康診査により疾病の早期発見や適切な治療につなげ、疾病の発症・重症化予防を図る。胃がん検診では内視鏡検査の選択を追加。
10		後期高齢者健康診査経費	84万円	後期高齢者の健康診査により生活習慣病による虚弱化を予防し、健康維持を図る。健診費用は全額助成する。

✿ 農業・林業

No	新	事業名	予算額	事業内容
1	新	土壌病害虫対策事業	583万円	粉状そうか病及び各種センチュウ対策に係る薬剤購入経費の一部を助成。
2	新	ストックポイント整備事業	708万円	ストックポイントの整備に係る経費の一部を助成し、農作物輸送の効率化を図る。
3		家畜糞尿利用推進事業	162万円	バイオガスプラントから発生した消化液の散布費用の1/3を助成し、環境問題の防止と地力増強、農作物の収量増加を促進。
4		家畜防疫対策事業	160万円	畜産現場における家畜伝染病の侵入を未然に防ぐため、牛舎消毒とワクチン接種に対する助成を行うことで、畜産経営の安定化を支援。
5		畜産飼料作物増産対策事業	700万円	酪農・畜産農家の粗飼料不足の解消と耕畜連携体制の強化に向け、デントコーン受委託栽培に参加する受託組合員に対し助成。
6		清水谷地区排水路土砂溜工新設事業	2,531万円	清水谷排水路に土砂溜工を新設し、大雨時の畑地への湛水を防止。
7		農業後継者奨学資金等支給事業	90万円	将来、本町において農業に従事しようとする青少年に対し、奨学金を支給。
8		林産業振興対策事業	1,085万円	経営合理化及び担い手対策を推進し、林業・木材産業事業者の経営安定と林業労働者の雇用安定を図る。
9		民有林造林促進事業	382万円	民有林において、森林の公益的機能の持続的な発揮のため、植栽・間伐等の適時適切な森林施業の実施に補助。
10		町有林整備事業	5,599万円	町有林整備を計画的に推進し、適切な森林の整備と保全に努める。
11		オソウシナイ線林道改良事業	3,575万円	オソウシナイ線林道の改良のため、設計および工事を実施。

✿ 商工・観光

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		移住促進・二地域居住事業	3,512万円	「上士幌町交流と居住を促進する会」を中心に、首都圏プロモーション活動、生活体験モニター事業等を実施。
2		商店街活性化対策事業	1,600万円	中元大売り出しや歳末大売り出し、新春大売り出し等、商店街の活性化を図る事業への支援(補助)。
3	新	ナイトイテラス管理運営事業	1,034万円	ナイトイテラス管理運営に伴う指定管理料。
4		北海道バルーンフェスティバル開催事業	1,675万円	北海道バルーンフェスティバルの開催や、熱気球人材育成事業を行う組織委員会に対して補助。
5		ぬかびら源泉郷地区景観整備事業	5,345万円	整備された「ぬかびら温泉公園(足湯)」を中心に、観光客の周遊を図るため、ネイチャートレイルと温泉街の案内看板を整備。
6		道の駅整備事業	12億1,054万円	実施設計を受け、建設工事を実施する。開業は平成32年度を予定。
7		ナイトイテラス管理運営事業	1,341万円	旧ナイトイテラス管理運営の解体工事とともに、散策路など周辺整備の実施設計を行う。
8		道の駅等開設誘致宣伝事業	990万円	道の駅で紹介する観光映像の製作、施設パンフレット製作やオープンに向けた広告宣伝活動をナイトイテラスとともに実施。

✿ 子育て支援・教育・文化

No.	新	事業名	予算額	事業内容
1		自然環境教育推進事業	84万円	ひがし大雪自然ガイドセンターによる小中学生を対象とした自然環境教育を推進し、体験活動の充実と優れた自然環境への理解を深める。
2		北海道上士幌高等学校振興会助成事業	5,246万円	上士幌高等学校の存続に向けた取り組みを進める振興会への助成により、高校の魅力化を推進。
3	新	プログラミング教育推進事業	281万円	外部講師によるプログラミング教育。学習教材ロボットの導入によるICT教育環境の整備。
4	新	小学校閉校記念事業協賛経費	140万円	糠平小学校の閉校に伴う各種協賛事業を支援するため、閉校記念事業協賛会に対し事業に係る経費の補助。
5		異文化交流推進事業	1,041万円	幼児期から外国語や異文化に触れ、コミュニケーション能力を高めるため、認定こども園に外国語指導講師を配置。
6		水泳プール管理運営事業	1,624万円	上士幌小学校水泳プールの管理、温水ボイラー更新等の施設修繕。
7		特別支援教育支援員設置事業	533万円	上士幌小学校に、障がいのある児童に対する介助や学習支援等を行う特別支援教育支援員を配置。
8		小学校教育充実事業	2,989万円	少人数学級教諭、学校教育推進支援教員の配置や、大学との授業研究連携。
9	新	中学校体育館トイレ等改修事業	2,162万円	上士幌中学校体育館のトイレおよび屋外水飲み場の改修工事。
10		中学校教育充実事業	1,456万円	中学校教育の充実を図るため、特別支援教育担当教諭、学校教育推進支援教員を配置。
11		コミュニティスクール事業	114万円	学校運営協議会の活動を通して、コミュニティ・スクールを活用した地域とともにある学校づくりを推進。
12		かみしほろ学園推進事業	1,745万円	幼保小中高の一貫性の確立、課外活動の充実、体験活動の充実を進め、子ども教育ビジョンの具現化を図る。
13		生涯学習センター管理運営経費	4,887万円	生涯学習センターわっかの管理運営経費。駐車場照明設置工事、空調機取付工事を実施し、利用環境の向上を図る。

ふるさと納税寄付金の使いみち

全国の皆さまから上土幌町へ「ふるさと納税」として寄せられたご寄付は、平成30年度は約11万6千件、金額にして20億円を超えるご厚志をいただきました。ご寄付により上土幌町を応援していただきました皆さまに、心より感謝を申し上げます。

上土幌町では、ふるさと納税制度を通じて消費が拡大し、地元企業や生産者による特産品開発が進み、新たな雇用も生まれています。お受けした寄付金は、地方において特に顕著な人口減少問題や少子化等の課題解決に、また農林業や観光、商工業などの地場産業の振興、福祉や医療、介護など町民の皆さまが安心して暮らせる取り組み、さらには防犯・防災、教育や生涯学習、道路整備や除雪対策、自然環境保護やアーチ橋の保存など、幅広い分野で活用しております。

上土幌町に寄せられたふるさと納税のご寄付がどのように活用されているのか、その内容についてお知らせいたします。

◆ 平成30年度のふるさと納税の寄付額

寄付別	平成31年3月15日現在		割合
	件数	金額	
一般寄付	68,051件	12億 564万円	59.0%
指定寄付	47,808件	8億3,695万円	41.0%
合計	115,859件	20億4,259万円	100.0%

▼ 指定寄付の使い道別内訳

指定用途	平成31年3月15日現在		割合
	件数	金額	
子育て・教育	26,400件	4億5,137万円	53.9%
農林業	6,467件	1億1,992万円	14.3%
医療・福祉・介護	6,273件	1億1,549万円	13.8%
観光	4,690件	7,938万円	9.5%
自動運転バス導入促進	3,048件	5,517万円	6.6%
商工業	674件	1,235万円	1.5%

◆ ふるさと納税の活用方法

ふるさと納税としてお受けした寄付金は、お礼の品としてお返しする特産品発送などの必要経費を差し引いた後、一度基金に積み立ててから必要に応じて各種事業に使っています。

○ 活用の方法

① 「上土幌町ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金」に積み立て

一般寄付の2分の1および指定寄付のうち「子育て・教育」関係の寄付金は、「上土幌町ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金」に積み立てた後、外部選考委員会の審議を経て寄付金を活用することが決定した事業に使います。子育て・教育関係では、基金を最大限に活用し、一般財源の充当を極力抑えています。

② 「上土幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金」に積み立て

一般寄付の2分の1は、「上土幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金」に積み立てた後、外部選考委員会の審議を経て寄付金を活用することが決定した事業に使います。

③ 指定寄付金

指定寄付金は、寄付者の指定する使い道や意向に沿った事業に対して、基金を原資として不足分は一般財源を充当しています。

○平成30年度の収入・支出見込み ※予算計上ベースでの見込み

【収入】	科目	金額	内 訳
	寄付金	20億1,986万円	ふるさと納税による寄付

【支出】	科目	金額	内 訳
	委託料等	14億5,213万円	特産品発送などの必要経費
	積立金	5億6,773万円	
		4億5,000万円	ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金への積み立て
		5,000万円	ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金への積み立て
		6,773万円	財政調整基金への積み立て

◆ ふるさと納税の主な活用事業 ※平成31年度事業への充当活用予定

❖ 子育て・教育 ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金活用事業

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	高校世代までの子ども医療費助成事業拡大事業	260万円	260万円	—	—	子ども医療費の無料化を高校世代まで拡大。
2	バルーンスタンプ子育て支援カード事業	639万円	639万円	—	—	「子育て支援カード」を発行し、満点で5,000円分の商品券と交換。
3	子育て世代住宅建設支援事業	2,300万円	2,300万円	—	—	子育て世代の負担軽減と定住・移住促進のため、住宅購入費用を助成。
4	自然環境教育推進事業	84万円	84万円	—	—	小中学生に豊かな自然環境と地域資源を活かした体験活動を推進。
5	公営塾開設事業	718万円	718万円	—	—	中学生の公設民営塾を開催し、進学志向生徒の保護者負担軽減を図る。
6	プログラミング教育推進事業	281万円	281万円	—	—	プログラミング教育の充実、学習教材ロボットを活用した教育。
7	認定こども園保育料無料化事業	5,889万円	3,537万円	1,961万円	391万円	保護者の負担軽減のため、認定こども園保育料を完全無料化。
8	認定こども園異文化交流推進員設置事業	1,041万円	1,041万円	—	—	幼児期からの異文化交流を図るため、外国語講師による指導を行う。
9	認定こども園遠距離通園支援事業	387万円	387万円	—	—	認定こども園遠距離通園者の送迎費用を助成。
10	学校図書整備事業	185万円	185万円	—	—	小中学校の蔵書冊数を増やし、読書による学力北海道トップレベルを目指す。
11	中学校体育館トイレ等快適化事業	2,162万円	712万円	—	1,450万円	中学校体育館トイレ洋式化など、お茶の水飲み場の設置。
12	学校教育充実事業	4,534万円	4,534万円	—	—	小中学校における教育の充実を図るため、町費による教職員の配置。
13	子どもの夢・未来応援事業	223万円	223万円	—	—	著名人を招へいし、その技術や考え方に子どもたちが直接触れる機会を提供。
14	かみしほろ学園推進事業	1,547万円	604万円	943万円	—	「上土幌町子ども教育ビジョン」の目指す子ども像の具現化・見える化を進める。
15	吹奏楽器購入事業	249万円	249万円	—	—	中学校、高校の吹奏楽器を3か年で更新。
16	青少年教育推進事業	116万円	116万円	—	—	かみっ子ふるさと体感塾の開催および、少年会が実施する各種活動に助成。
17	土曜学習推進事業	26万円	26万円	—	—	土曜日における充実した学習機会を提供し、子どもの学力向上を図る。
18	こどもの本と映像ソフト購入事業	88万円	88万円	—	—	図書館の児童書、絵本、映像ソフトの充実、乳幼児の親子に絵本をプレゼント。
子育て・教育 計			1億6,828万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 健康・安心・いきがい・生涯活躍 ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金活用事業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	生涯活躍のまち 上土幌創生包括プロジェクト事業	4,356万円	2,303万円	—	2,053万円	地域包括ケアの充実や、かみしほろ塾の運営に係る委託料。
2	緊急通報用電話機設置事業	157万円	157万円	—	—	ひとり暮らし高齢者等の緊急時援護のため、病状不安等の対象者宅に機器を設置。
3	三愛介護サービス事業推進経費	1,652万円	1,266万円	—	386万円	介護要支援者等に対する町独自の生活支援サービスを提供。
4	高齢者等福祉サービス助成事業	3,050万円	431万円	2,003万円	616万円	高齢者等の福祉サービス事業への助成。
5	高齢者等福祉バス運行事業	2,388万円	2,388万円	—	—	高齢者や障がい者等の外出支援を目的とした循環バスの運行。
6	高齢者在宅介護支援事業	193万円	193万円	—	—	介護者等に介護用品を支給し、介護に係る負担を軽減。
7	健康増進センター入浴料減免事業	544万円	544万円	—	—	70歳以上の町民が低料金で温泉を利用できるように支援。
8	40歳スタート・脳ドック検診事業	109万円	109万円	—	—	40歳時の検診費用と、一般町民に対する脳ドック検診費用を助成。
健康・安心・いきがい・生涯活躍 計			7,599万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 保健・医療・福祉・介護

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	福祉灯油等支給事業	600万円	500万円	50万円	50万円	低所得世帯の灯油等購入に係る経費を補助。
2	老人クラブ活動育成推進事業	170万円	124万円	—	46万円	老人クラブの活動に対する支援。
3	高齢者等福祉サービス助成事業	3,050万円	616万円	2,003万円	431万円	高齢者等の福祉サービス事業への助成。
4	障害者地域生活支援事業	1,255万円	691万円	—	564万円	障がい者への地域生活の支援。
5	障害福祉サービス助成事業	501万円	415万円	86万円	—	障害福祉サービス事業所運営補助。
6	1歳6か月児・3歳児健康診査事業	105万円	105万円	—	—	1歳6か月児・3歳児健康診査の実施。
7	妊婦健康診査事業	601万円	564万円	—	37万円	妊娠中の健康診査経費、交通費の助成。
8	女性がん検診普及啓発キャンペーン事業	350万円	335万円	—	15万円	検診費用の無料化や普及啓発。
保健・医療・福祉・介護 計			6,747万円	※その他の未記載の事業を含みます		

❖ 自動運転バス・起業家支援・旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋保存基金

事業名	寄付金活用額	事業内容
自動運転バス導入推進事業	1,000万円	町内の行動における自動運転バスの走行試験実施経費。
ふるさと起業家支援プロジェクト	300万円	地域の活性化や課題解決を図ろうとする起業者に支援。
旧士幌線第三音更川橋梁補修事業	7,201千円	旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋保存基金を活用した補修工事の実施設計。

◆ 農業・林業

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	資源循環型農業推進事業	228万円	228万円	—	—	緑肥作物や有機物を利用した農業の推進。
2	土壌病害虫対策事業	583万円	583万円	—	—	粉状そうか病および各種センチュウ対策に係る薬剤購入経費の一部助成。
3	ストックポイント整備事業	708万円	708万円	—	—	ストックポイント整備に係る経費の一部助成。
4	家畜糞尿利用推進事業	162万円	162万円	—	—	バイオガスプラントから発生した消化液の散布費用を助成。
5	家畜防疫対策事業	160万円	90万円	—	70万円	家畜の伝染病蔓延対策。
6	畜産飼料作物増産対策事業	700万円	700万円	—	—	粗飼料確保のため、デントコーン受託栽培に対する補助。
7	ゲノム解析黒毛育種卵生産拡大事業	1,025万円	775万円	—	250万円	十勝ナイタイ和牛の品質向上のため受精卵移植等に係る経費を補助。
8	清水谷地区排水路土砂溜工新設事業	2,531万円	2,107万円	24万円	400万円	畑地への灌水被害を防止するための整備。
9	農業後継者奨学資金等支給事業	90万円	90万円	—	—	農業に従事しようとする青少年への奨学金の支給。
10	農業後継者対策推進経費	100万円	100万円	—	—	農業後継者の育成および確保対策。
11	林産業振興対策事業	1,085万円	1,085万円	—	—	経営合理化や担い手対策により、林業・木材産業を振興。
12	町有林整備事業	5,599万円	500万円	2,293万円	2,806万円	町有林の整備による森林整備と保全。
農業・林業 計			1億2,648万円	※その他の未記載の事業を含みます		

◆ 商工・観光

No	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	産業振興対策事業	1億4,147万円	400万円	2,731万円	1億1,016万円	新規等創業に対する支援等。
2	農林商工連携促進事業	604万円	400万円	104万円	100万円	地域の資源を活用した新商品開発等への支援。
3	商店街活性化対策事業	1,600万円	382万円	1,218万円	—	商店街に賑わい・活性化を図るため各種売出への補助。
4	観光協会助成事業	800万円	800万円	—	—	魅力的な観光地づくりやPR活動、イベントの効果的実施のため観光協会へ補助。
5	観光施設維持管理事業	2,069万円	1,849万円	—	220万円	町内観光施設の管理。
6	ナイタイテラス管理運営事業	1,034万円	1,034万円	—	—	ナイタイテラスを指定管理により管理運営。
7	北海道バルーンフェスティバル開催事業	1,675万円	1,675万円	—	—	バルーンフェスティバルの開催、および人材育成。
8	観光ビジネス創出事業	4,163万円	1,278万円	924万円	1,961万円	観光DMO機能を有した法人(観光地域商社)の設立。
9	ぬかびら源泉郷冬季観光客誘致事業	140万円	140万円	—	—	ぬかびら源泉郷への冬季観光客の誘致活動。
10	自然館維持管理事業	1,136万円	1,004万円	—	132万円	ひがし大雪自然館の運営。
商工・観光 計			8,122万円	※その他の未記載の事業を含みます		